

第14回県政インターネットモニターアンケート集計結果

南海トラフ地震についての県民意識調査

※グラフの中の「n」は、各設問の回答者総数を示す。

※各回答項目の割合（％）は、端数処理の関係上（小数第二位を四捨五入）、合計が100%にならない場合がある。

○南海トラフ地震についての県民意識調査

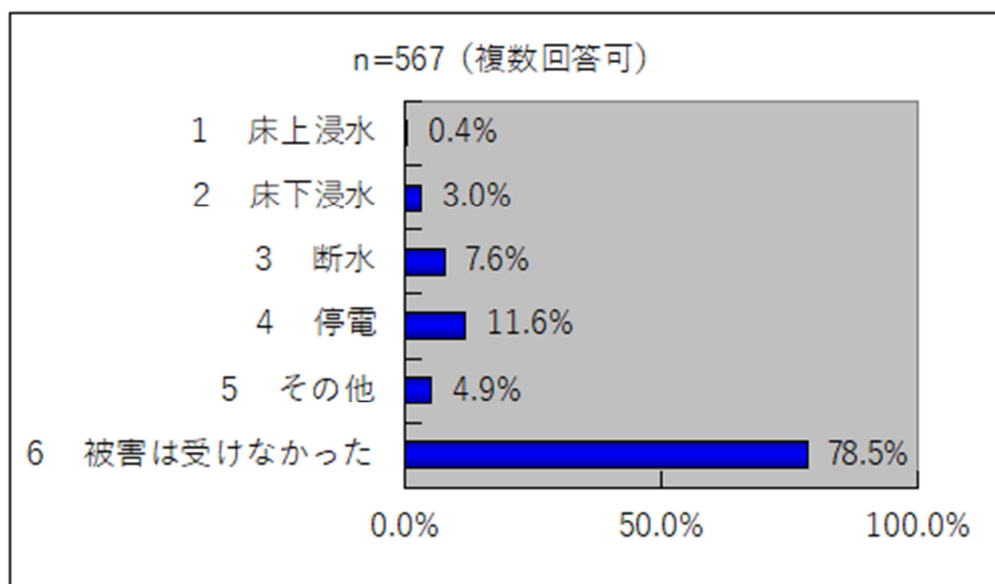
静岡県から西日本にかけての広い範囲で大きな被害が想定される「南海トラフ地震」はいつ起きてもおかしくないと言われています。

県では、県民の皆様の巨大地震に対する考え方や日頃の備えなどについてお伺いし、今後の防災啓発事業を進めていく上での参考にさせていただきたいと考えております。（一部自然災害への意識についてもお伺いします。）

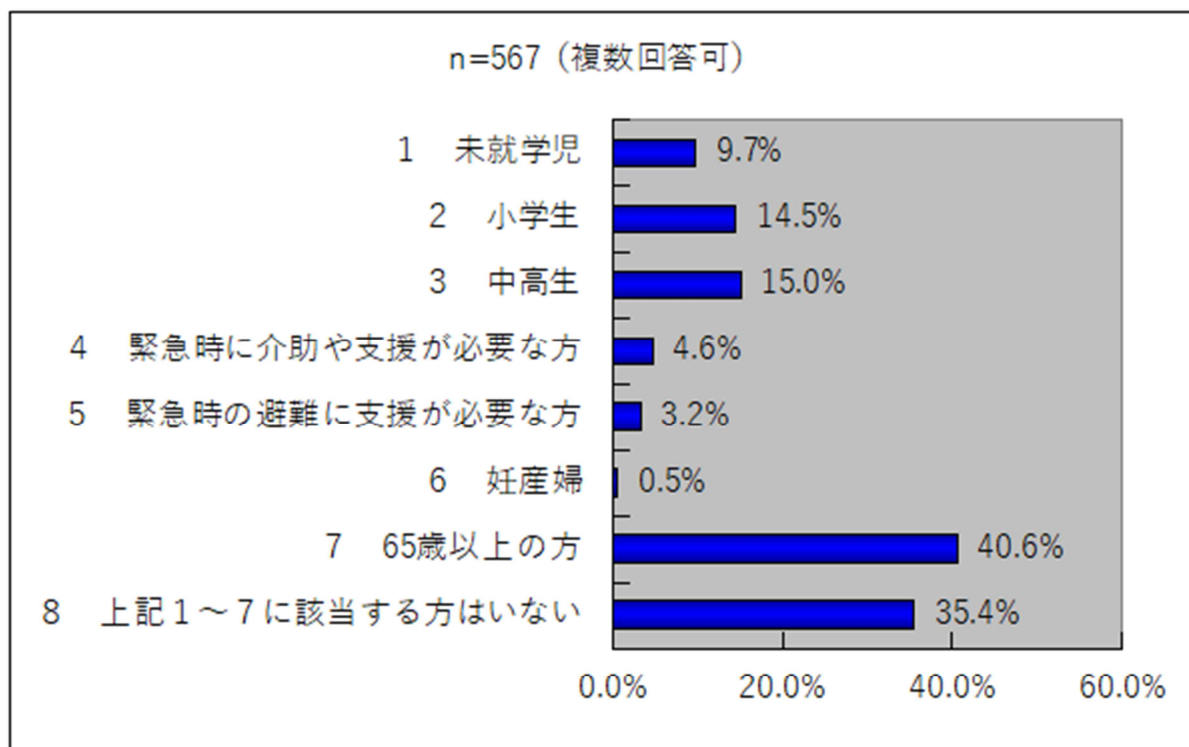
回答者数：567人（回答率：83.8%）			
	カテゴリー名	回答者数	%
性別	男性	256	45.1%
	女性	308	54.3%
	その他	3	0.5%
年代	10代	3	0.5%
	20代	36	6.3%
	30代	53	9.3%
	40代	123	21.7%
	50代	142	25.0%
	60代	109	19.2%
	70代	83	14.6%
	80代	18	3.2%
	90代	0	0.0%
住所	賀茂	6	1.1%
	東部	174	30.7%
	中部	217	38.3%
	西部	170	30.0%
	県外	0	0.0%
職業	自営業	35	6.2%
	会社員	193	34.0%
	公務員	15	2.6%
	パート・内職従事者	110	19.4%
	学生	28	4.9%
	無職	161	28.4%
	その他	25	4.4%

○巨大地震についての基本的な考え方

問1 令和4年台風第15号（9月24日（土）に静岡県に最接近し、各所に水害・土砂災害を引き起こした）による被害についてお聞きします。あなたは台風15号によりどのような被害を受けましたか。（複数回答可）

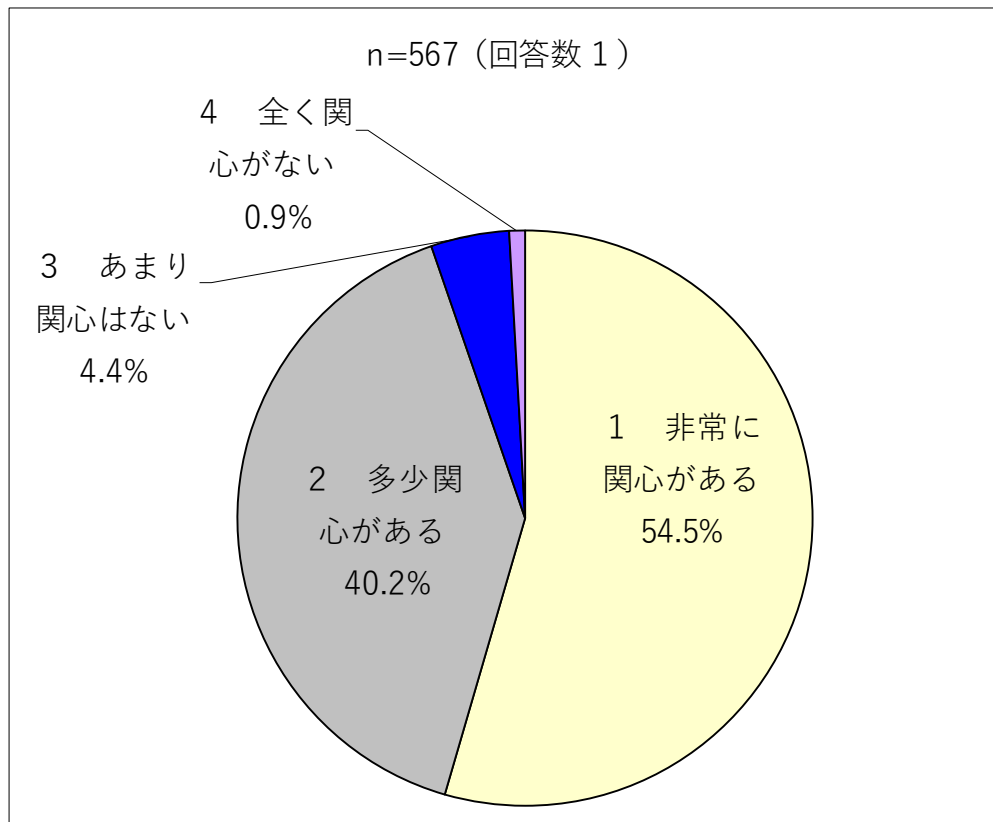


問2 同居されている方のうち、次に該当する方がいますか。（複数回答可）

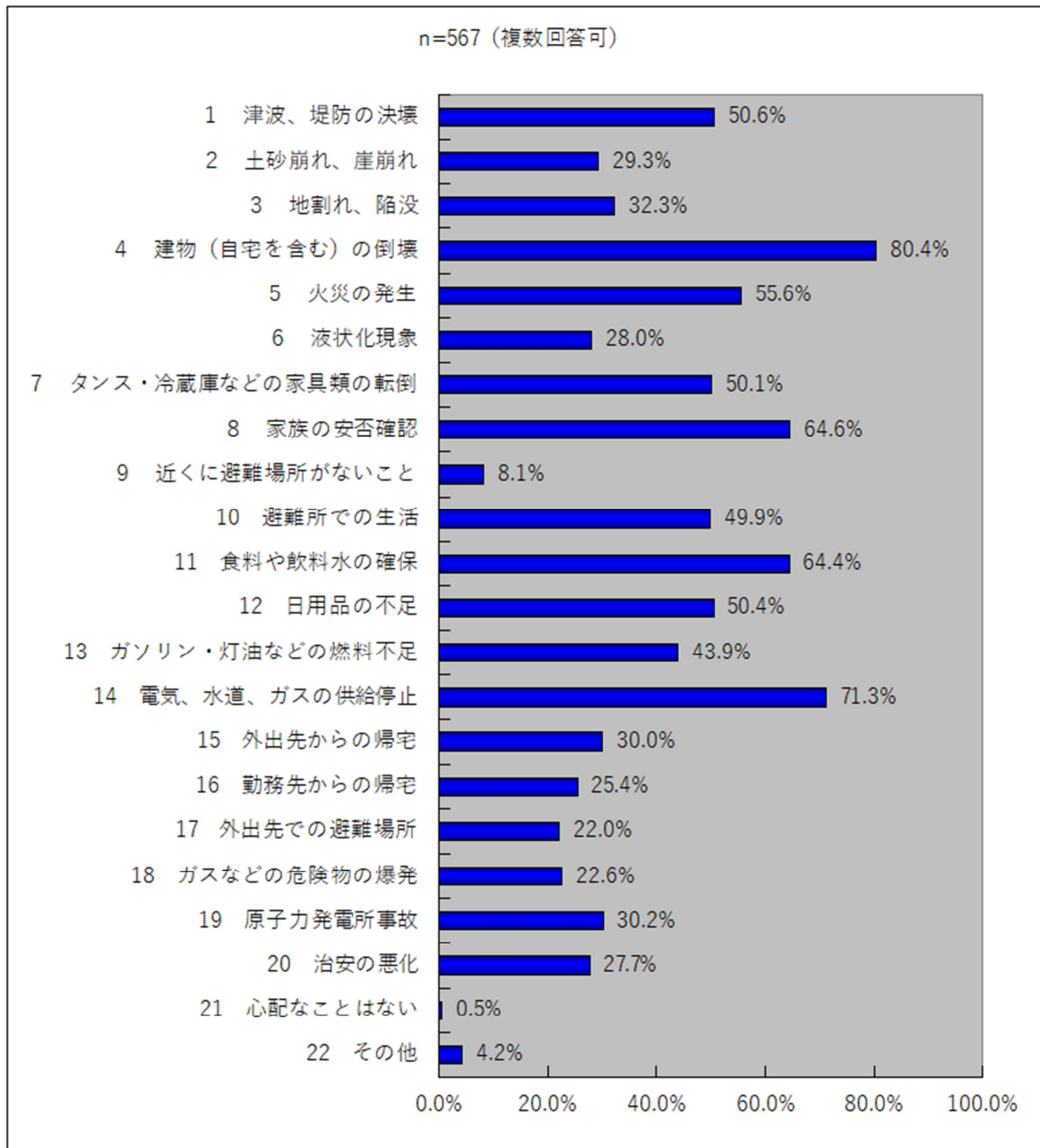


問3 あなたは現在、※南海トラフ地震にどの程度の関心を持っていますか。(回答数は1つ)

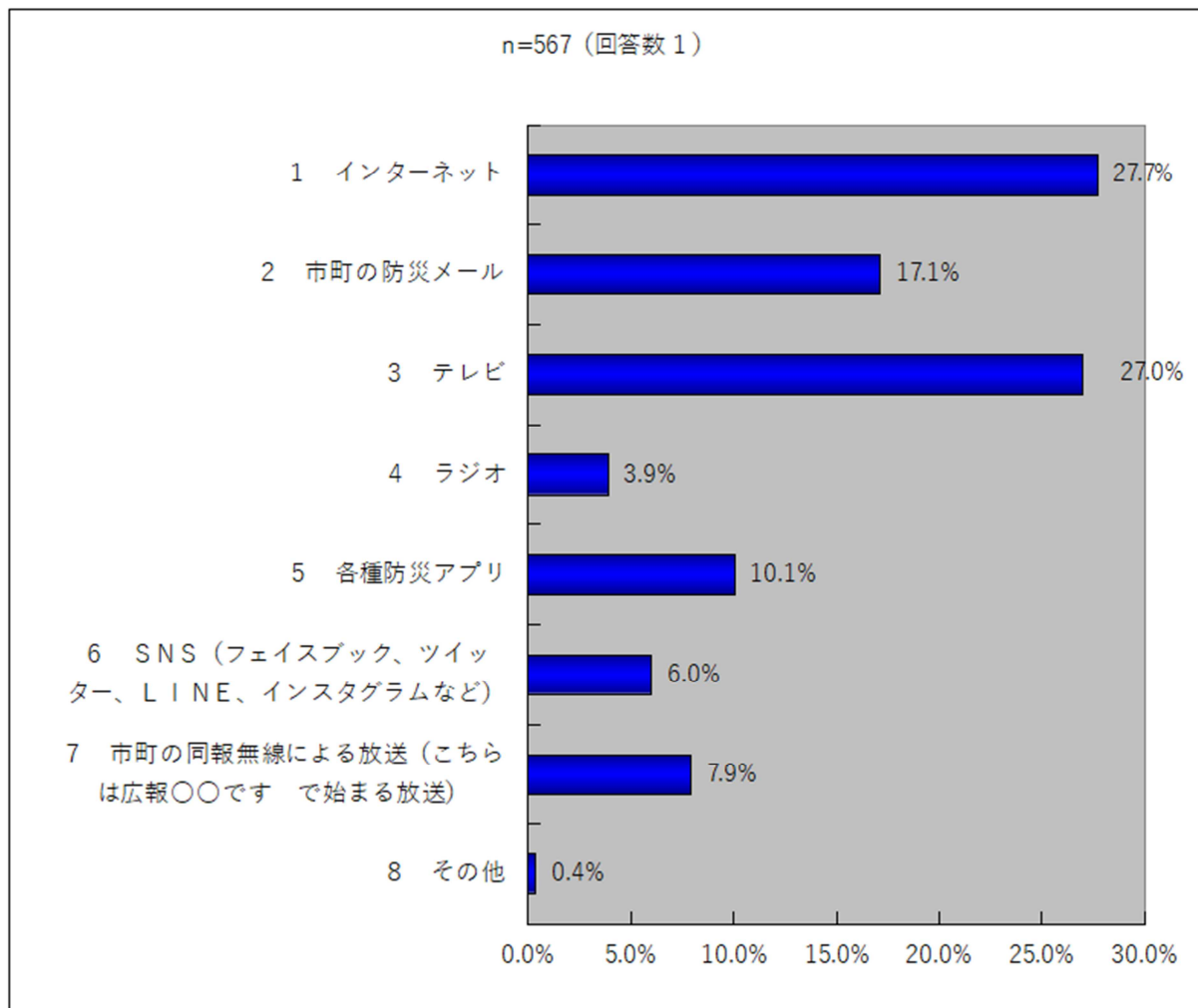
※「南海トラフ地震」は、関東地方から九州地方の広い範囲で強い揺れが発生し、静岡県内でも震度6弱から6強、一部では震度7となる可能性があります。また沿岸部では、3mを超える大津波が各地で発生し、一部では、20mを超えると想定されています。



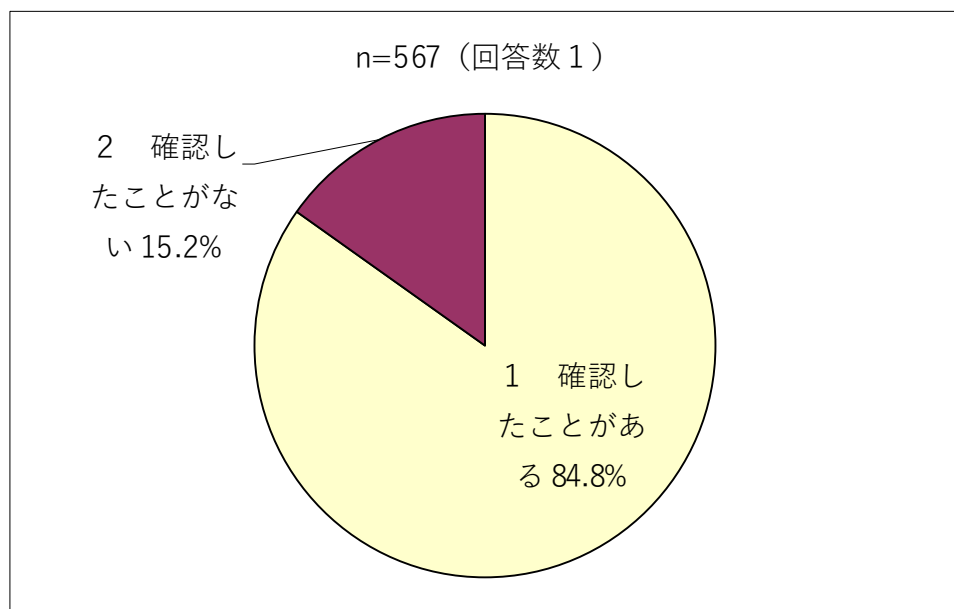
問4 あなたは、南海トラフ地震が起きた場合、どのようなことが心配ですか。(複数回答可)



問5 日頃、大雨警報や避難情報など緊急時の防災情報を主にどのような手段で入手していますか。(回答数は1つ)

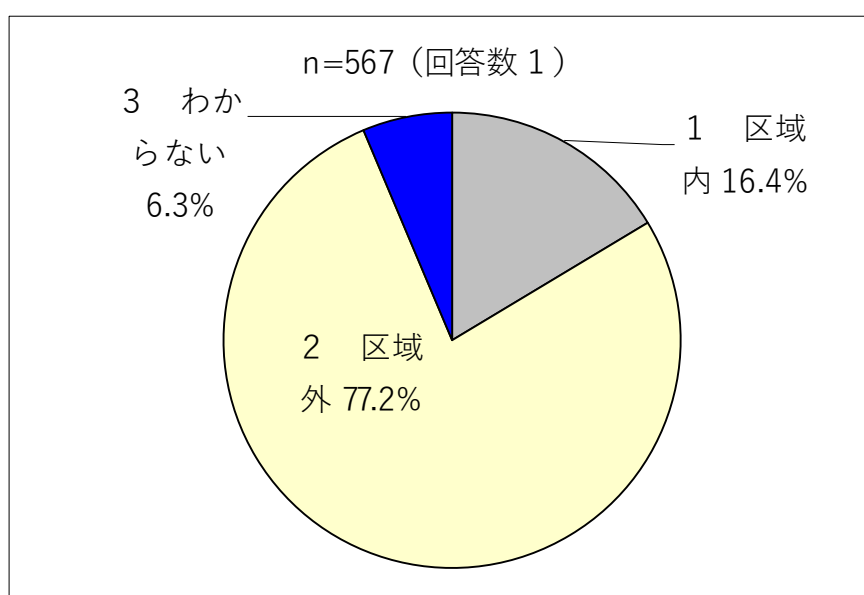


問6 災害の危険度を示した地図（ハザードマップなど）で自宅を確認したことがある。（回答数は1つ）



問7 あなたの御自宅は津波浸水想定区域内ですか。それとも区域外ですか。御不明な方は、市町の防災マップ、又は、以下のLINKで津波浸水想定区域を確認することができます。（回答数は1つ）

<https://www.gis.pref.shizuoka.jp/?z=14&ll=34.809967%2C138.324478&t=roadmap&mp=11001&op=70&vlf=00080000000000000008>



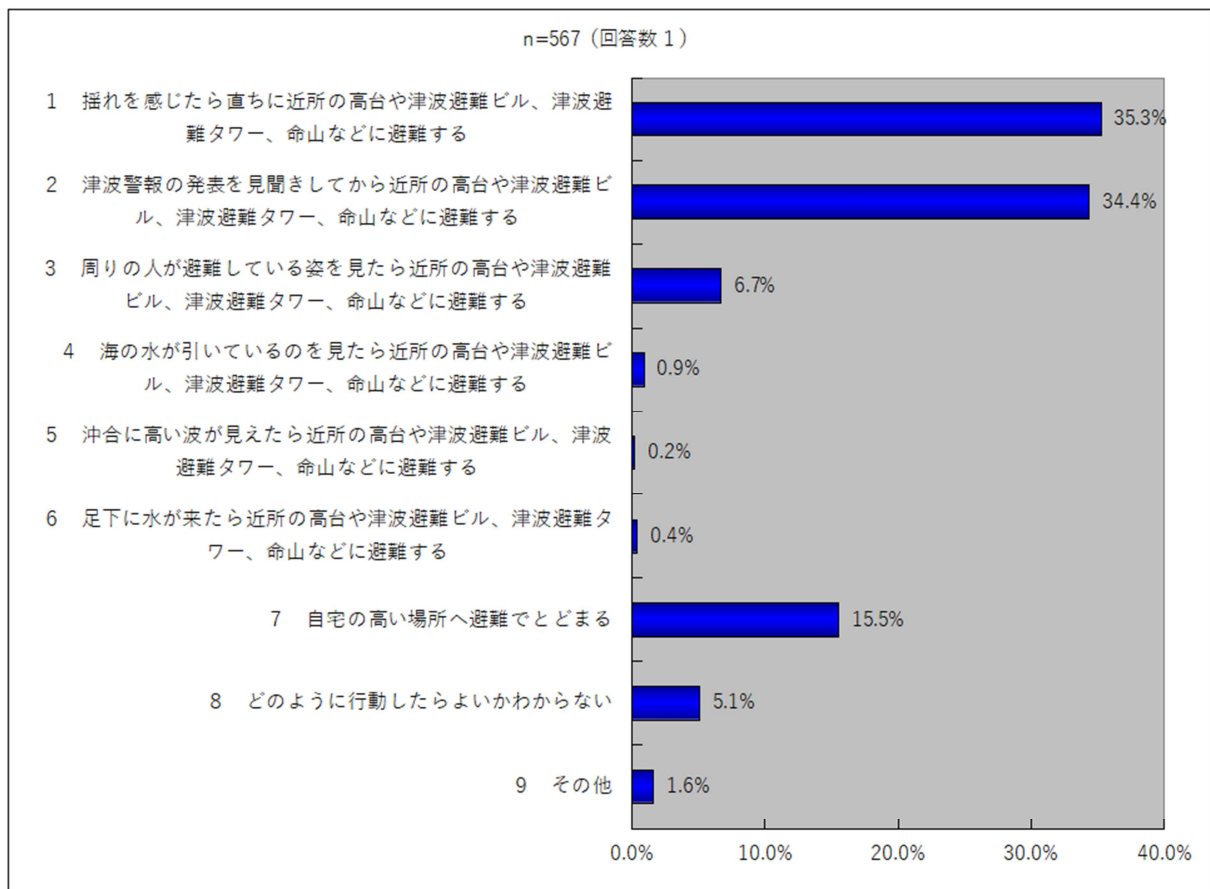
問8 津波に対する行動について伺います。浸水想定区域にお住まいの方は自宅や自宅周辺で地震にあった場合を想定してください。それ以外の方は沿岸部を訪れていて地震にあった場合を想定してください。【前提条件】のような大きな地震が起きた場合、あなたはどのように行動しますか。(回答数は1つ)

【前提条件】突然、震度6強以上の地震(立っていることが困難な揺れ。家の中では固定していない家具類はほとんど倒れる。)が起きた場合を想像してお答えください。

※(参考)平成25年6月に公表した静岡県第4次地震被害想定では、津波の到達時間は場所によっては最短で2分です。東日本大震災では地震発生から30分ほどで各地に大きな津波が到達したとされています。静岡県ではそれよりも早い時間で大きな津波が襲来する可能性があります。津波到達時間は以下のLINKで確認できます。地点をクリックすると到達時間が表示されます。

<https://www.gis.pref.shizuoka.jp/?z=14&ll=34.940692%2C138.413242&t=roadmap&mp=1802&op=70&vlf=-1>

避難を予定していた場所の破損、避難途中の道が塞がれ通ることができないなど、あらかじめ決めた行動ができないかもしれません。津波想定した避難行動においては様々な要因を考慮して考えておくことが必要です。

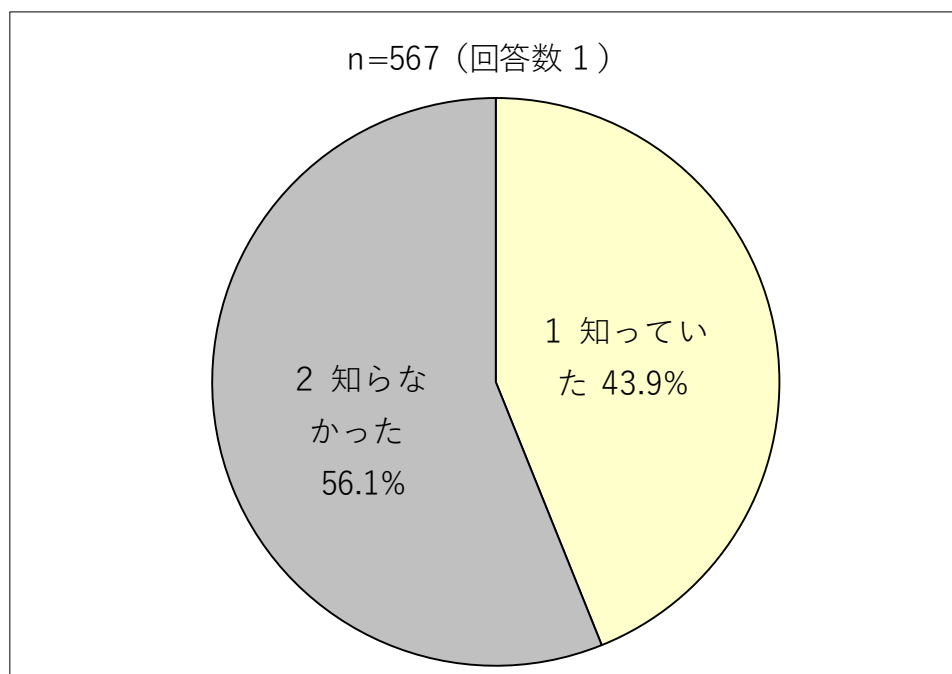


問9 【前提条件】のような大きな地震が起きた場合、救助・救急活動などの応急活動を迅速かつ円滑に行う必要があります。公共交通機関が運行を停止することも考えられる中、外出先や勤務先から一斉に帰宅を始めてしまうと、緊急車両の通行を妨げ、応急活動に支障をきたすことが懸念されます。そのため、外出先や勤務先にいる時に【前提条件】にあるような大きな地震直後は、津波からの避難が必要なく安全に滞在できる場合「むやみに移動を開始しない」ことが原則です。あなたは、この原則を知っていましたか。(回答数は1つ)

【前提条件】突然、震度6強以上の地震(立っていることが困難な揺れ。家の中では固定していない家具類はほとんど倒れる。)が起きた場合を想像してお答えください。
※(参考)静岡県では、大規模な災害が発生した際に緊急車両が通行する新東名高速道路や東名高速道路、国道や主要な県道などの幹線道路を「緊急輸送路」に指定しています。

※(参考)企業等にお勤めの方が勤務先にいる時に大きな地震が発生した場合は、企業の施設内に一定期間待機するなど、企業がルールを定めている場合がありますので、これに従ってください。

また、繁華街など外出時に大きな地震が発生した場合は、近くの公園などの広く安全な場所に避難する必要がありますが、消火活動や救助・救急活動の妨げにならないよう、徒歩で移動するようにしましょう。



問 10 災害が発生したときの避難のため、市町はあらかじめ緊急避難場所や避難所を指定しています。また、緊急避難場所には災害種別ごとに指定があります。あなたは知っていますか。(回答数は1つ)

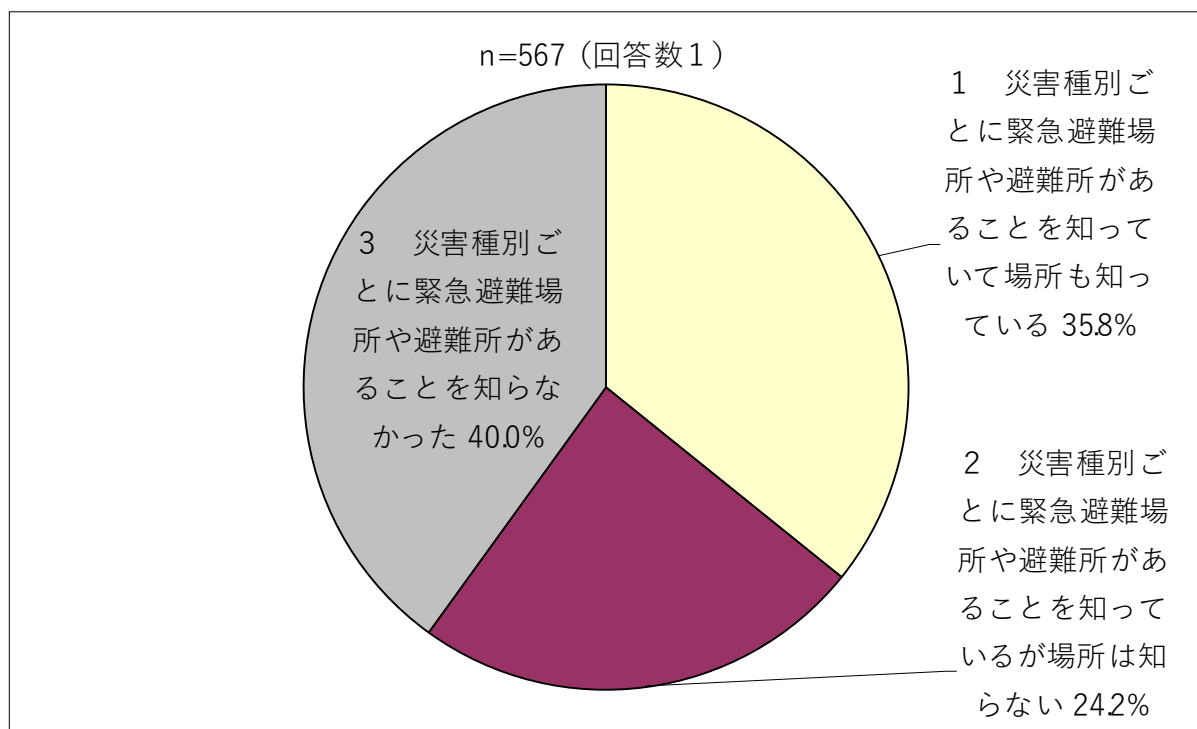
※(参考) 避難場所の災害種別については、防災マップによる確認、避難場所周辺に掲げられた看板で確認するか、お住まいの市町の防災担当課へお問合せください。また、静岡県総合防災アプリ「静岡県防災」でも確認ができます。



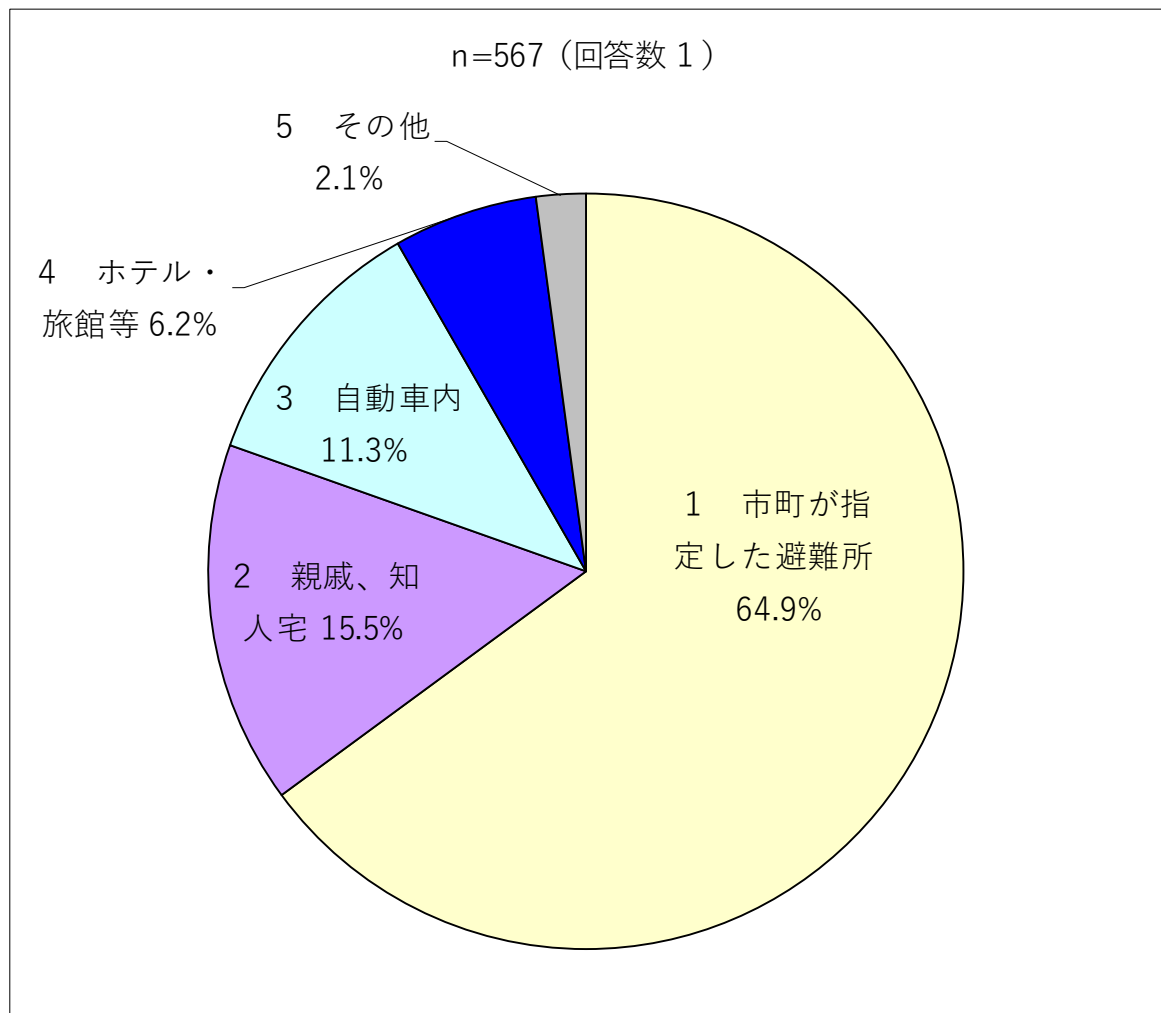
災害種別が表示された



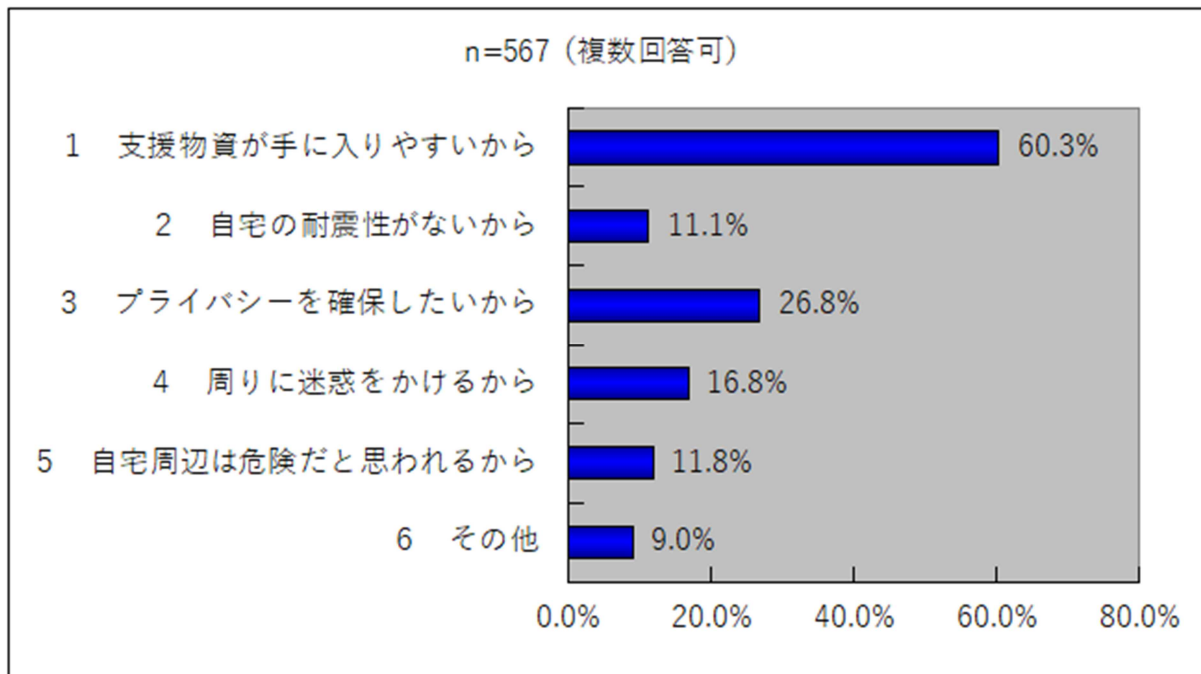
災害種別が表示された看板



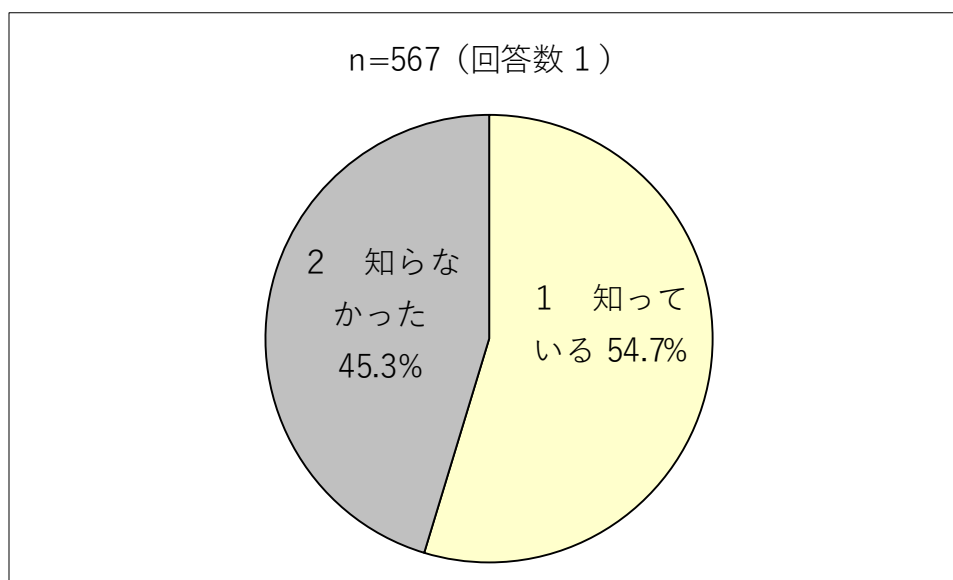
問 11 災害発生後、一定期間避難が必要となった場合に、避難先として選択する可能性が高いものをお答えください。(回答数は1つ)



問 11-2 問 11 の避難先を選択した理由は何ですか。(複数回答可)

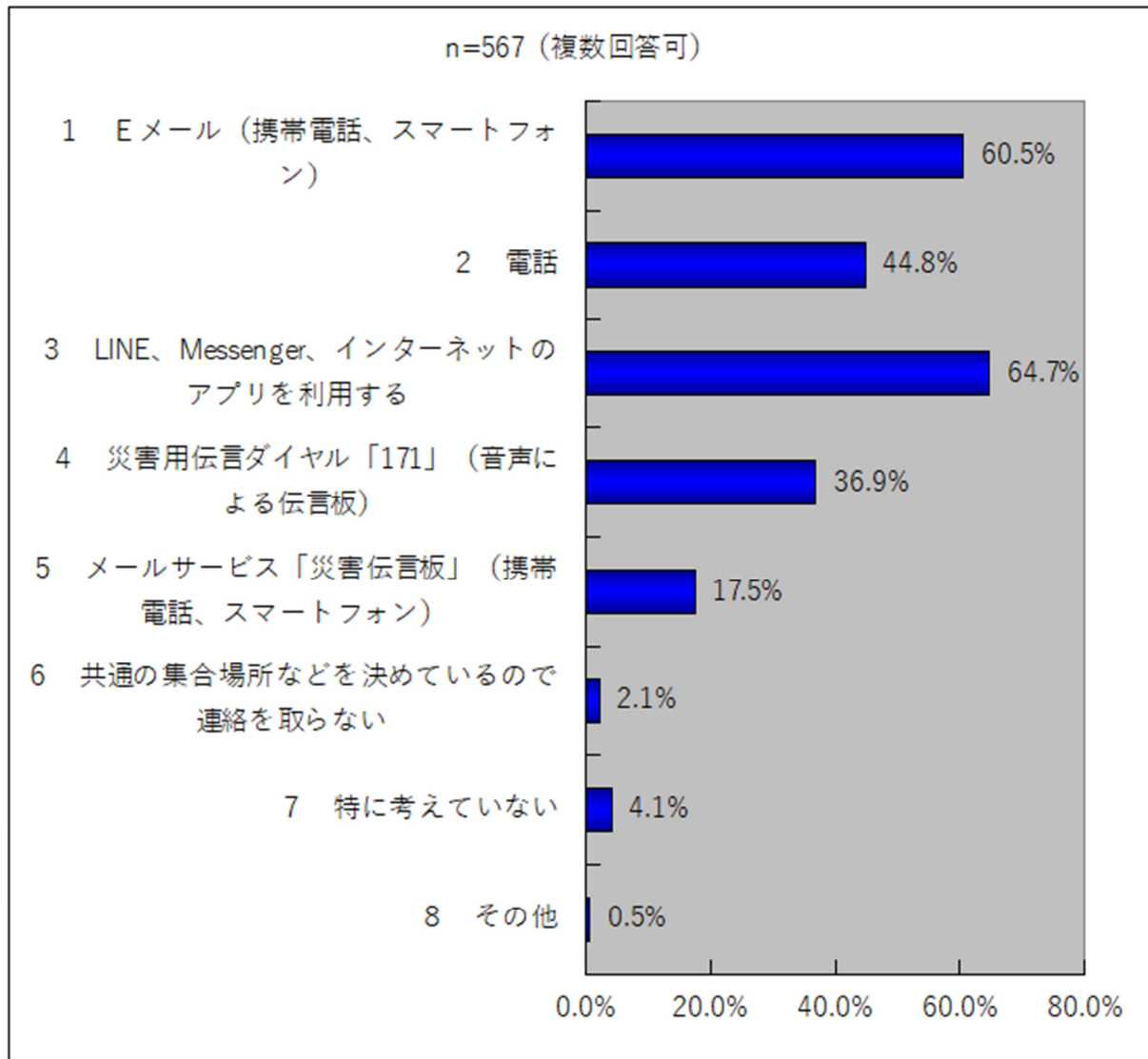


問 12 避難所で一定期間避難生活を行う場合、避難所利用者が主体となって避難所運営を行うことを知っていますか。(回答数は1つ)



問 13 地震が起きた際に、離れている家族と安否を確認する手段として何を使うことを考えていますか。(複数回答可)

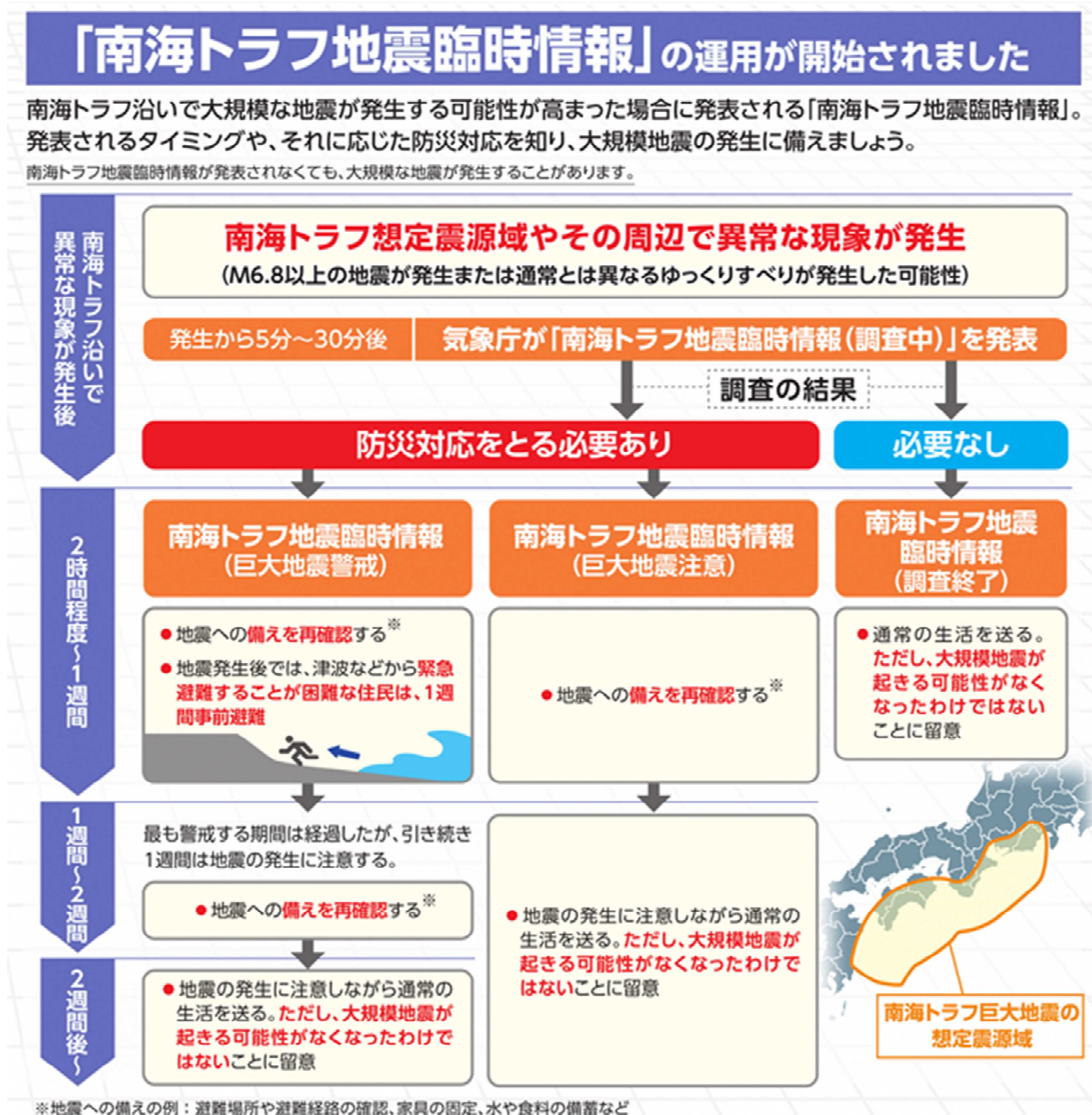
※南海トラフ地震発生時には通信機器の破損や回線が混雑し、連絡がとれなくなる場合があります。日頃から複数の手段で家族の安否が確認できるように家庭内で訓練をおこなしましょう。



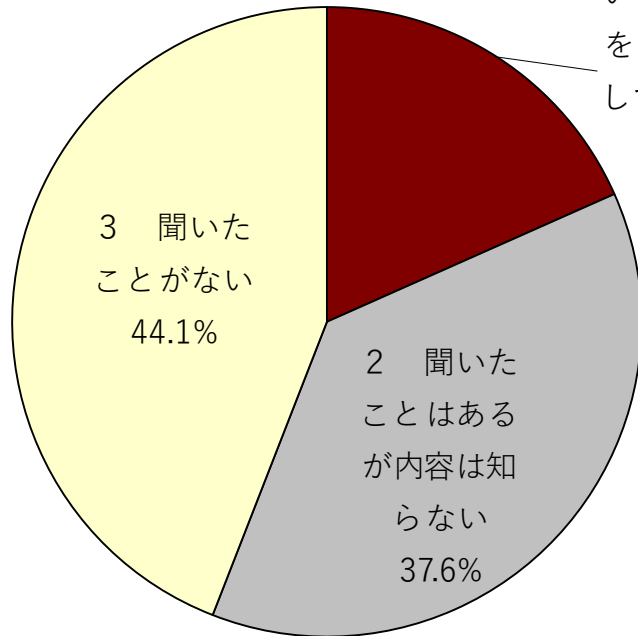
問 14 南海トラフ地震による被害防止・軽減のため、気象庁では平成元年5月31日から「南海トラフ地震臨時情報」の運用を開始しています。「南海トラフ地震臨時情報」について知っていますか。(回答数は1つ)

※南海トラフ臨時情報は南海トラフ地震の発生する可能性が、通常よりも高まった場合に発表される情報で、情報の内容やお住まいの地域等によっては事前避難が必要となります。詳しくはこちらを御覧ください。

<http://www.pref.shizuoka.jp/bousai/e-quakes/topics/shirumanabushiraberu/documents/guidebook1024shuusei.pdf>



n=567 (回答数 1)



1 知っている (内容を概ね理解している)
18.3%

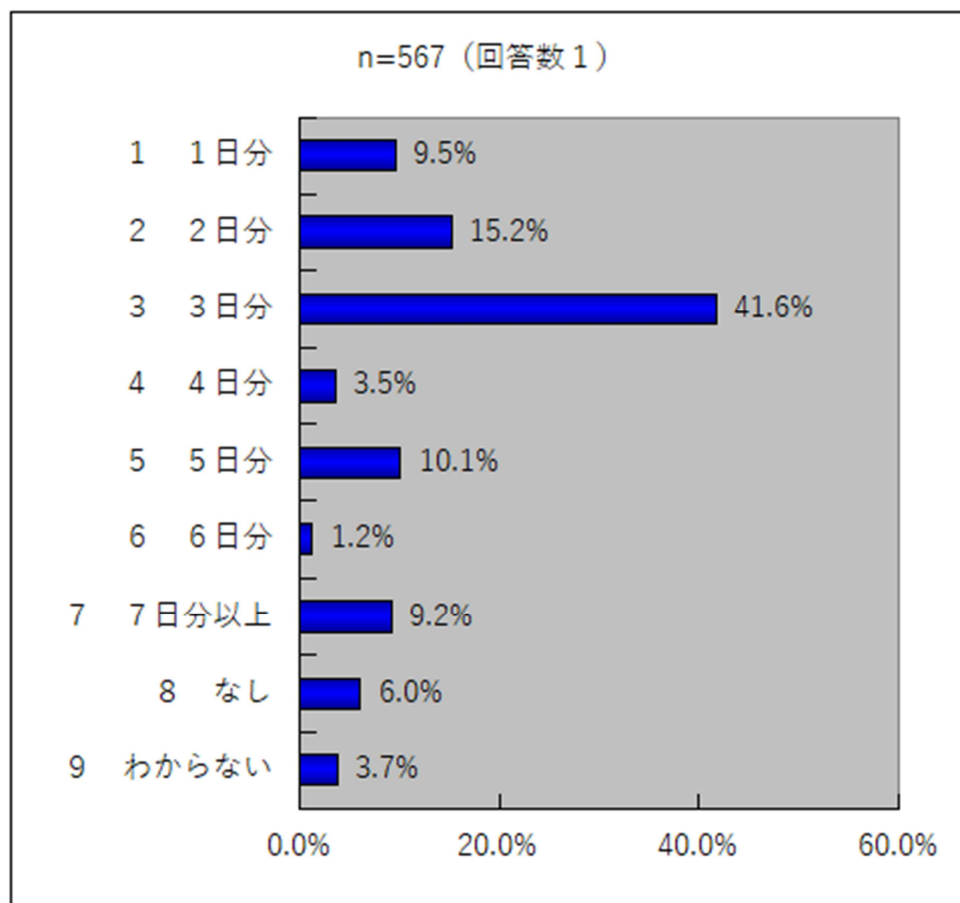
3 聞いたことがない
44.1%

2 聞いたことはあるが内容は知らない
37.6%

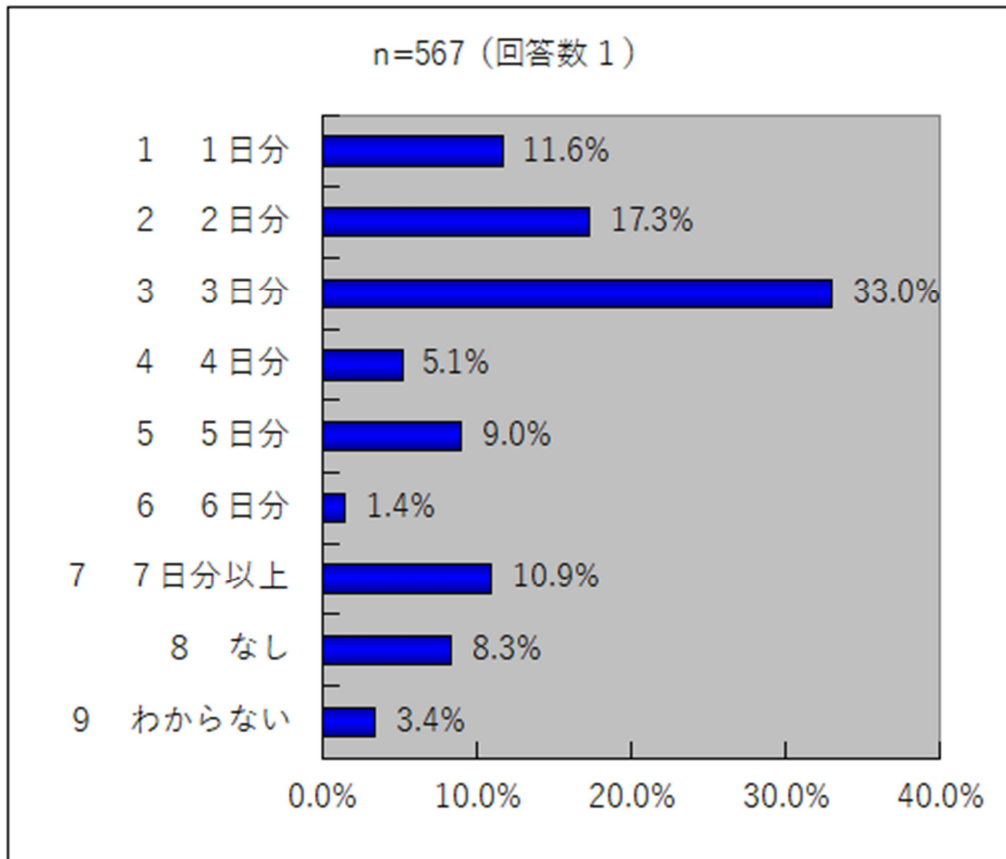
○巨大地震に対する備え

問 15 南海トラフ巨大地震のような大規模災害時には、公的な支援物資がすぐに届かず、また、スーパー・コンビニなどの食料品や日用品がすぐ品切れになることも予想されます。このため、各家庭において水や食料を備蓄することが重要です。日頃の備えとして、あなたのお宅では、家族全員分の食料は概ね何日分ありますか。御家族ひとりあたり1日3食として計算してください。(回答数は1つ)

※食料は、日常的に利用する保存・調理が容易な食品(缶詰、レトルト食品、インスタントラーメン、果物等)、飲料水は、日常的に飲むもの(ミネラルウォーター、お茶、缶ジュース・ペットボトル飲料、ウォーターサーバー等) 食べ慣れたもの、食事を楽しむもので工夫することが備蓄のこつです。



問 16 日頃の備えとして、あなたのお宅では、家族全員分の飲料水は何日分ありますか。御家族ひとりあたり1日3リットルで計算してください。(回答数は1つ)



問 17 水や食料を備蓄する際、※ローリングストックという備蓄方法がありますが知っていましたか。(回答数は1つ)

※ローリングストック法は日常的に非常食を食べて、食べたらいきなり買い足すという行為を繰り返し、常に家庭に新しい非常食を備蓄する方法です。

※(参考)災害時の備蓄についての解説はこちらです。ぜひ御覧ください。

<https://www.pref.shizuoka.jp/bousai/chosa/documents/zitakudenoseikatukeizokuukeihatu.pdf>

災害時の備蓄は「食べ慣れた食品」も活用しよう!

大規模地震後は、物流がストップすることが予想されるため、まず家庭で、1週間程度は自給するという考えが必要です。とはいえ、非常食を7日分備蓄するのは大変です。備蓄の際にも食べ慣れた食品の活用も考えてみませんか。

冷蔵庫

冷たい食べ物も、食べ慣れた食品も、7日分ありそう!

- 日常食品を活用すると
 - 寒2kgで7日分(約17食)1食=4.5食=75g
 - 食卓の幅が広がる
 - 賞味や消費期限の長い食品、乾燥、保存できる野菜、冷凍庫の食品を利用

常温食品

常温食品も、食べ慣れた食品も、7日分ありそう!

- 常温食品を活用すると
 - 賞味期限が長い食品
 - 乾燥食品(乾麺、乾菜、乾わかめ)
 - 缶詰(野菜、肉、魚、果物)
 - 常温保存できる野菜
 - 常温保存できる調味料

日常食品の活用ポイント

※この日一回です。ご家族の人数に応じた日数を調整していきましょう!

● 少し多めに購入

ローリングストック (賞味期限)

● 簡易調理法

簡易のヒートで早く調理

● 冷蔵庫の活用

賞味期限が長い食品は、賞味期限が近い食品と入れ替えておく

● コンロ等の準備

ボンベ(1日あたり1個)

● 賞味期限が長い食品はコンロやガスファンヒーターなどで、調理して食べる。賞味期限が近い食品は、賞味期限が長い食品と入れ替えておく。7日分の備蓄している食品は、なるべく毎日食べて、賞味期限が長い食品とローリングストック(賞味期限)を維持して、大規模地震に備えよう!

静岡県危機管理課 (2023.10)

備蓄の組み合わせ ~7日分を目指して~

量は日持ち 栄養バランスを考慮して、飽きずに おいしく 食べる工夫をしよう!

主食

エネルギーと炭水化物の確保

- 米(白米・玄米)
- 乾麺(うどん・そば・パスタ等)
- パン
- 小麦粉(小麦)・アルファルファ
- 小麦粉(小麦)
- 小麦粉(小麦)
- 小麦粉(小麦)
- 小麦粉(小麦)

主菜

たんぱく質の確保

- 肉・魚・豆などの食品
- 缶詰(肉・魚・豆)
- 缶詰(肉・魚・豆)
- 缶詰(肉・魚・豆)
- 缶詰(肉・魚・豆)

副菜

ビタミン等の確保

- 野菜(山菜・漬物)
- 漬物(漬物)
- 漬物(漬物)
- 漬物(漬物)
- 漬物(漬物)

その他の食品

食事をたのしむ

- 調味料
- 調味料(しょうゆ等)
- 調味料(しょうゆ等)
- 調味料(しょうゆ等)
- 調味料(しょうゆ等)

飲み物

水分補給

- 飲料(ジュース)
- 飲料(ジュース)
- 飲料(ジュース)
- 飲料(ジュース)

7日分の組み合わせのしかた

主食 + 主菜の組み合わせを 21食分 用意する

副菜 と その他の食品で 21食分の食事をしよう

例えば

このくらいが 家族あたり

おとな1人分の 主食と主菜 21食分を 確保できる!

【主食】

- 米 2kg (10食)
- パン 1個
- 乾麺 200g (1食)
- カップ麺 1個
- シリアル 100g (1食)

【主菜】

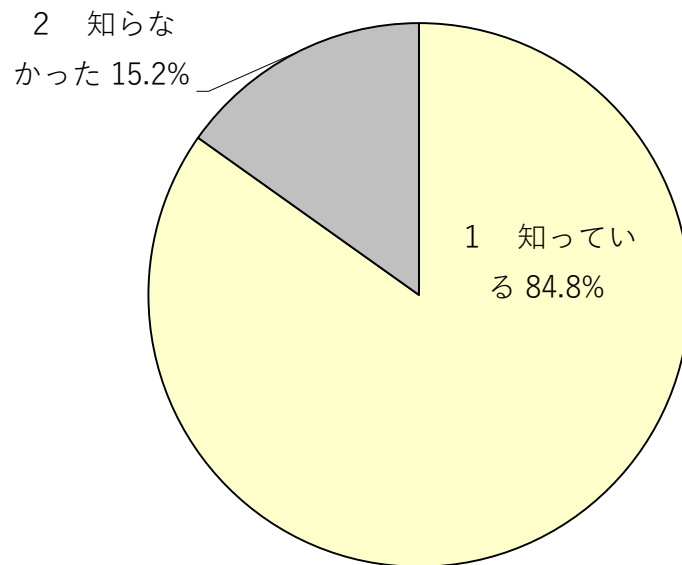
- 肉の缶詰 4食
- 魚の缶詰 4食
- 豆の缶詰 1食
- トマトカレー 1パック
- 味噌 1パック
- 缶詰 1個

高熱病、発熱、合宿を要する際、慢性疾患やアレルギーに配慮した食料は、なるべく食べているものを、多めに購入しておきましょう。

平常生活を送る時と同じように、簡単な調理法で調理して食べてください。賞味期限が長い食品とローリングストック(賞味期限)を維持して、大規模地震に備えよう!

静岡県危機管理課 (2023.10)

n=567 (回答数 1)



問 18 大規模地震が発生すると、停電や配管の破損などにより水洗トイレが使用できなくなる恐れがあります。あなたのお宅では、概ね何日分の携帯トイレ・簡易トイレを備蓄していますか。御家族ひとりあたり1日5回分として計算してください。(回答数は1つ)

※(参考)携帯トイレについての解説はこちらです。ぜひ御覧ください。

<http://www.pref.shizuoka.jp/bousai/chosa/documents/toilet-reserved.pdf>

※ウエットティッシュ、お尻ふき、携帯ウォシュレットも用意します。



そうだ!!

「携帯トイレ」も

備蓄しよう!



災害時に備えた食料、飲料水の備蓄は少しずつ浸透してきましたが、「携帯トイレ」の備蓄も忘れてはいけません。生きる上で、**食べること、飲むこと**と「**排せつすること**」はセットです。もし、水道が止まってしまったら、いつもの様に水を流すことができませんし、下水道が破損した場合には、水を流しても排せつ物が流せなくなる場合もあります。トイレを気持ち良く使うことができないと、体調を崩したり、災害関連死につながる可能性があります。あなた自身と家族を守るため、「携帯トイレ」も備蓄しましょう!



災害発生、水が止まってる! 備えがないと...



携帯トイレの備えがあれば...

備えてよかった...

携帯トイレ、どれくらいの数を備えたらいいの?

めやすは
1人1日
5回分
×
(1週間)
7日分
×
家族の
人数分

ふだん、1日に何回トイレに行くか考えてみよう

1人につき…… 「1日5回分を1週間分」をめやすに備蓄しよう

$5 \times 7 \times 5 = 175$

5人家族がいたら?

※「携帯トイレ」とは災害用トイレのうち、既存のトイレ等に載せて用いるもので、便袋に吸収シートが付いたものや、便袋と漏れ防止を併用するもの。(「洗剤トイレ」には様々な製品があります。)

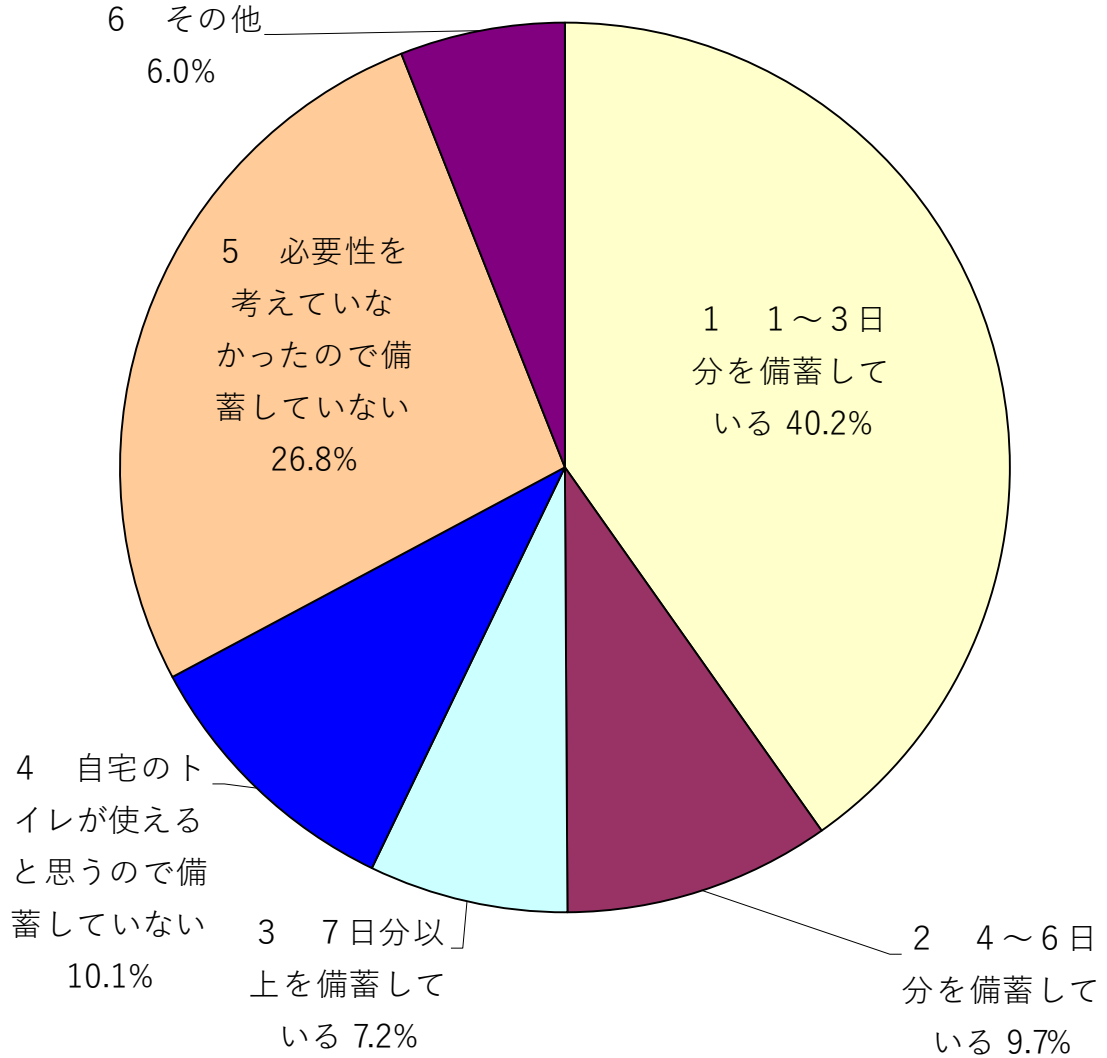


ホームセンター等で様々な製品がありますので、家族の人数や使用回数を想定して備えましょう。

※ 排せつ物の排出方法は各市町が示すルールに従いましょう。

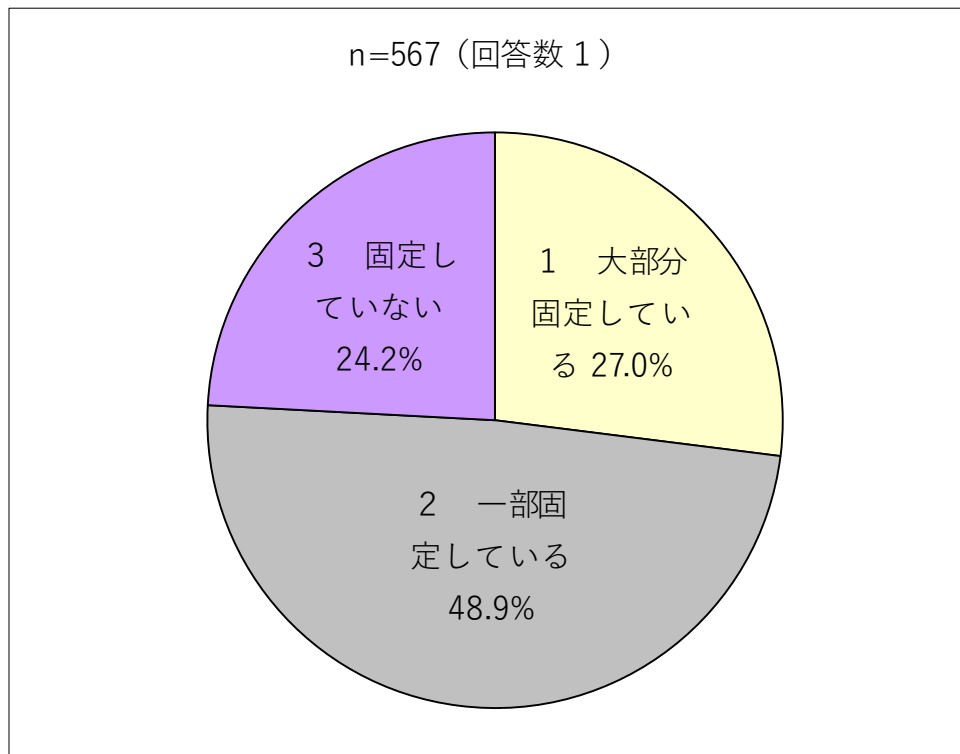
静岡県危機管理部 (H30.10)

n=567 (回答数 1)

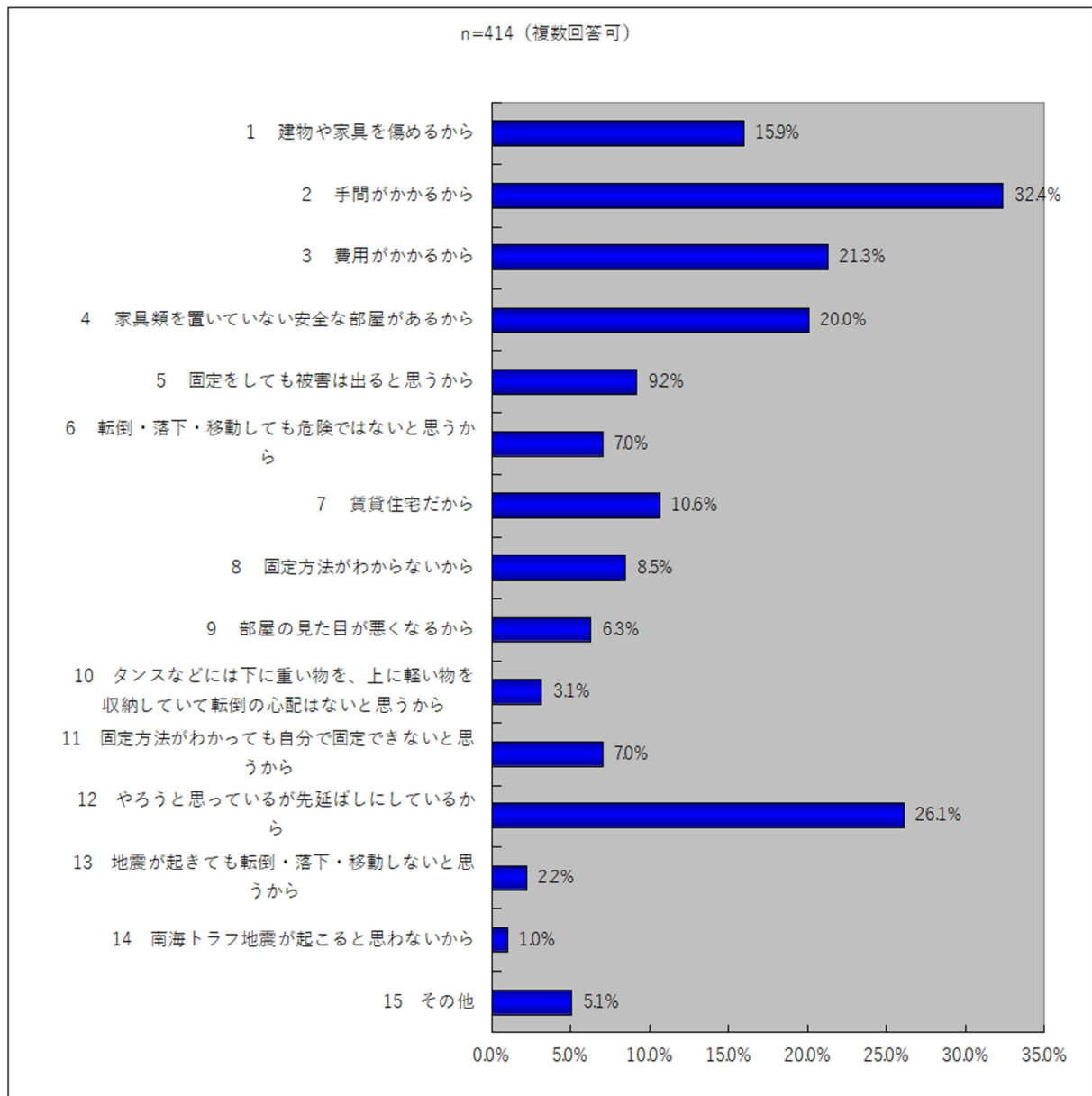


問 19 大地震による被害の有無は、家の耐震化だけではなく、家具の固定の状況に大きく影響されます。1995年の阪神・淡路大震災では、死亡者6,434人の10%、負傷者43,792人の46%が家具の転倒によるものです。(死者数、負傷者数は平成17年12月22日現在のものです。(消防庁調べ))

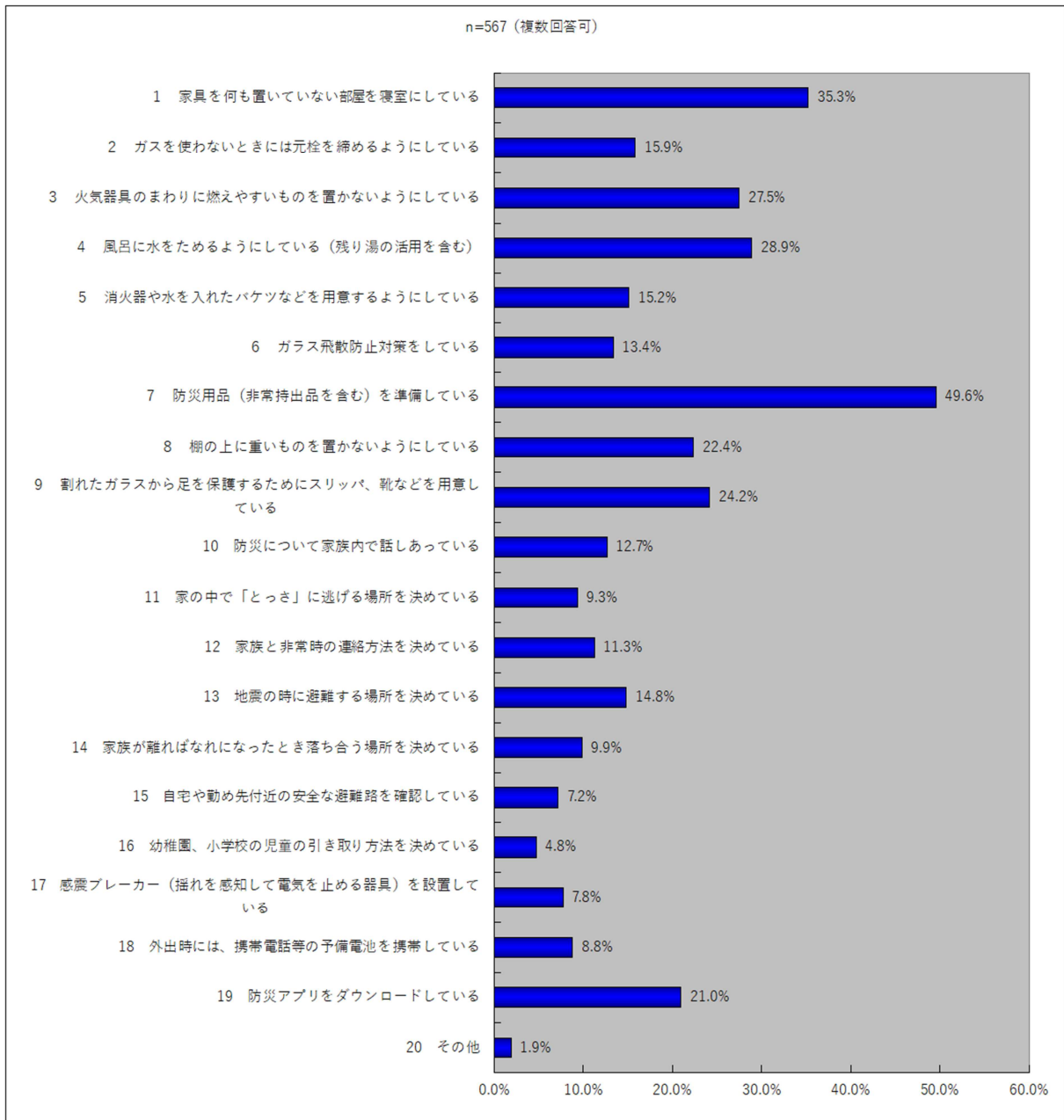
あなたのお宅では、地震に備えて家具類の固定をしていますか。(回答数は1つ)



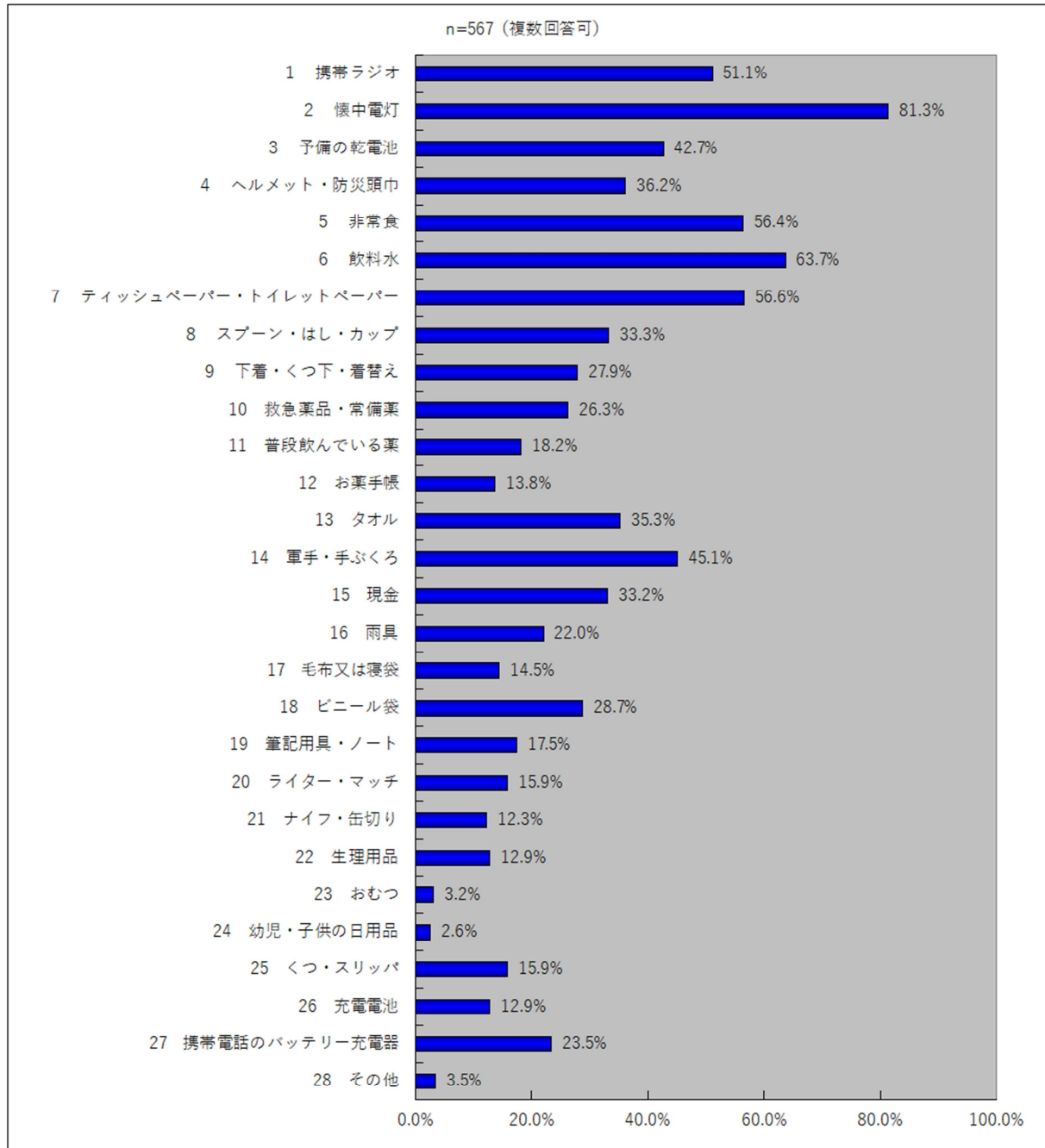
問 19-2 問 19 で選択肢 2 または選択肢 3 を選択された方に伺います。固定していない家具があるのはどのような理由からですか。(複数回答可)



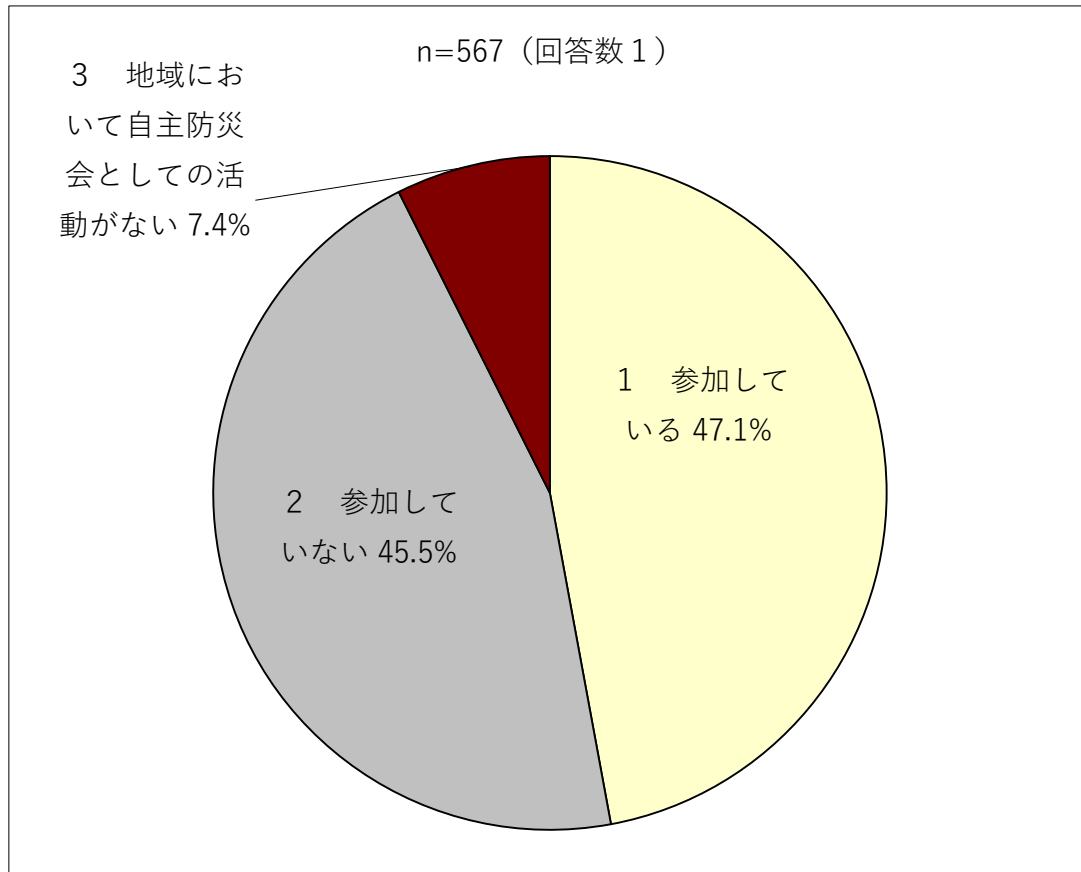
問 20 次にあげるものの中で、南海トラフ地震に備えて自宅や日常生活で実施している防災対策はありますか。(複数回答可)



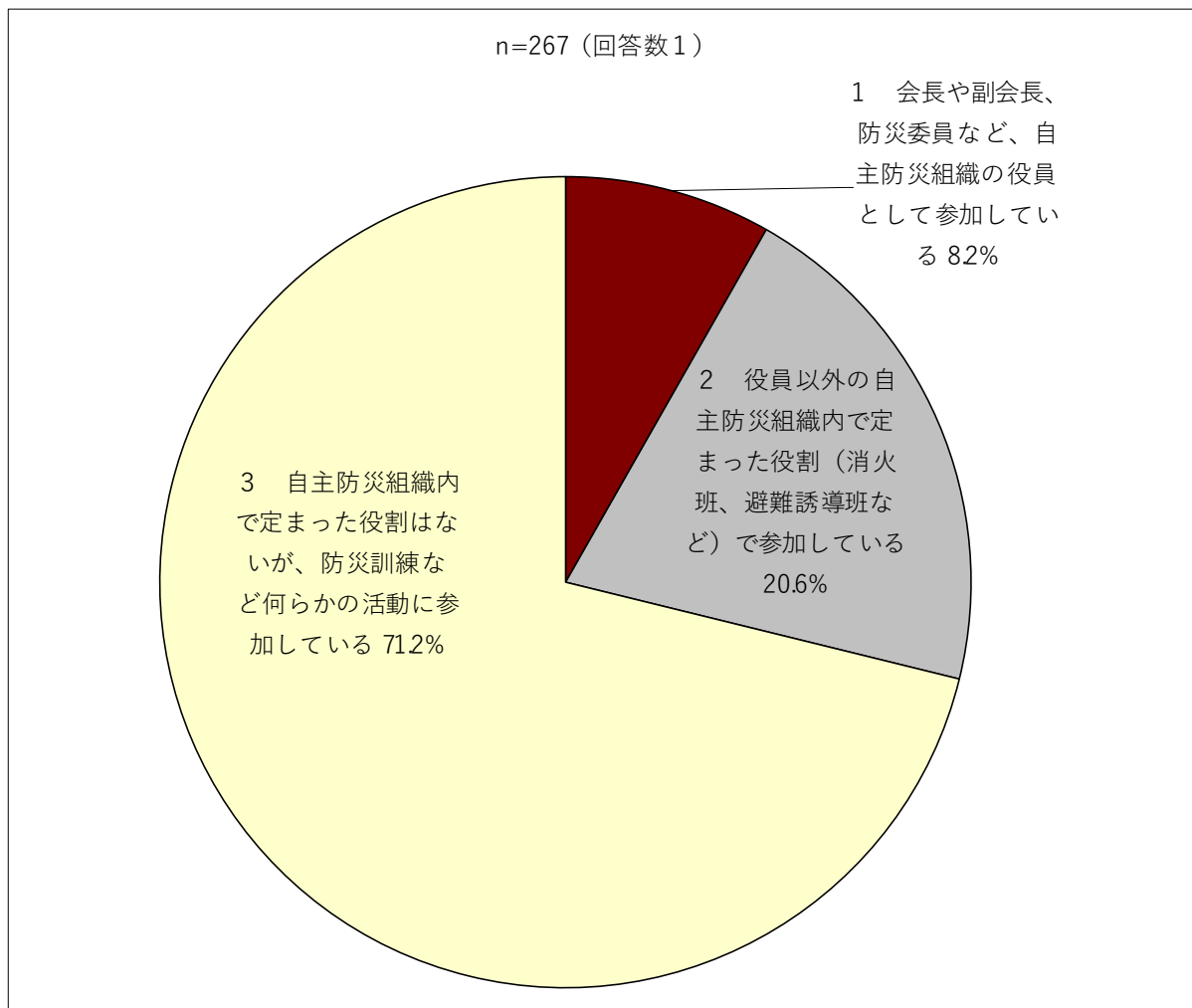
問 21 非常持出品として何を用意していますか。(複数回答可)



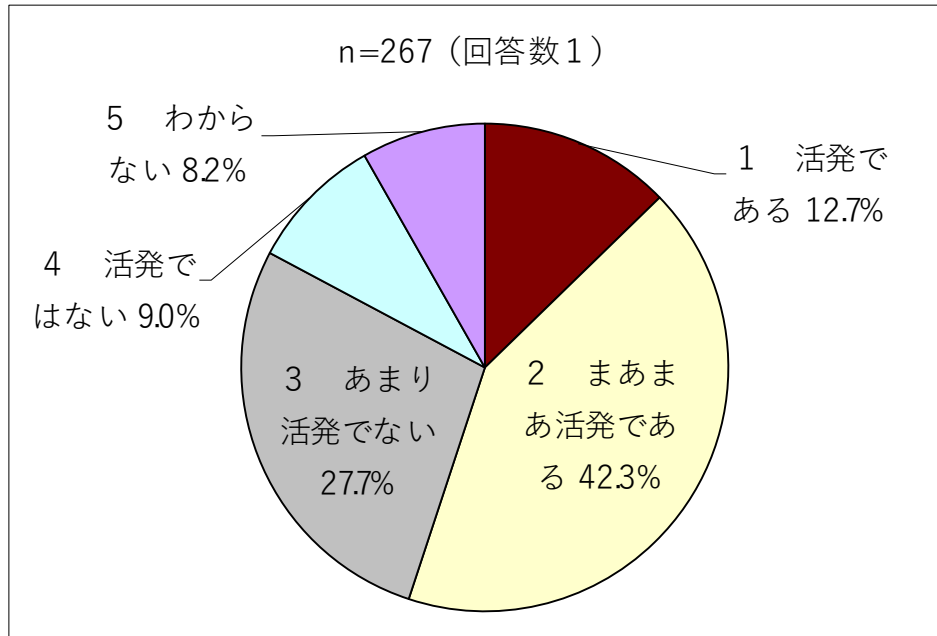
問 22 あなたは、地域の自主防災会の活動に参加していますか。(回答数は1つ)



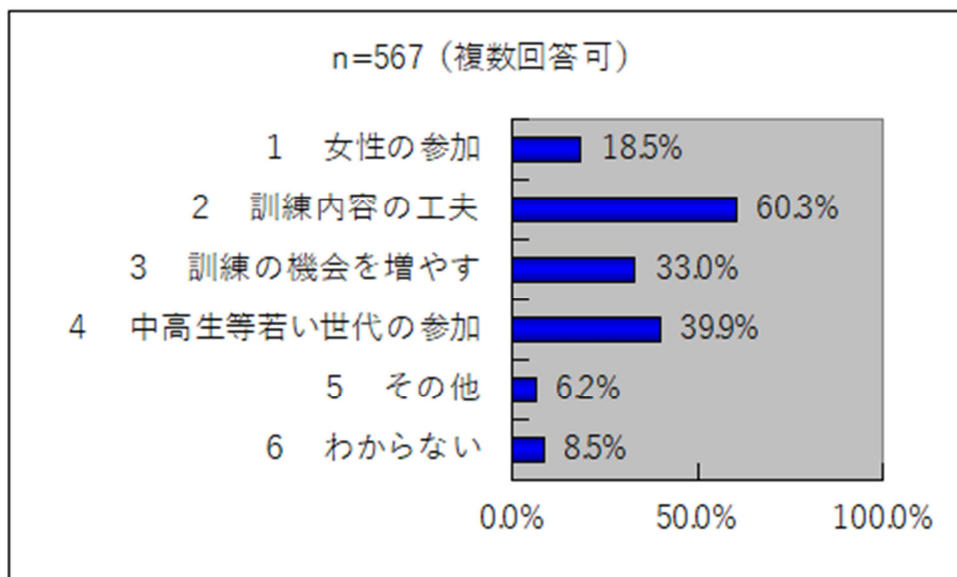
問 22-2 問 22 で選択肢 1 を選択された方に伺います。あなたは、どのような形で活動に参加していますか。(回答数は 1 つ)



問 22-3 問 22 で選択肢 1 を選択された方に伺います。あなたは地区の自主防災会の活動をどう思いますか。理由とともにお答えください。(回答数は1つ)



問 23 自主防災活動を活性化するには、どのようなことが必要だと思いますか。(複数回答可)



問 24 今後、県や市町が行う防災対策について、要望はありますか。(500 字以内)

担 当 危機管理部危機情報課
電 話 054-221-3366
F A X 054-221-3252
メール boujou@pref.shizuoka.lg.jp